

2016年6月16日

4種登録団代表者各位

一般社団法人神戸市サッカー協会

4種委員長 清水 博

神戸フットボールパーク岩岡グラウンドの利用注意について

先日の代表者会においてもお伝えいたしました、昨今岩岡グラウンドにおいて利用者マナーに関して深刻な事例が指摘され、入場口で施設拡充協力金の集金に協力していただいている地元自治会の方からも厳しい警告が寄せられています。

今回、少年サッカーリーグの駐車証に新たな注意文を加えた物を合わせて添付いたしますので、これを各団で差替え配布していただくのに合わせ、今一度各団の保護者の皆様へ、下記事例のような現状の深刻さをしっかりお伝えいただくようお願いいたします。

1、入場時ゲートにおいて施設拡充協力金の支払い拒否や無断通過

ゲートで支払いを拒否し通過しようとした車があり、また、その車を引き留めて注意を与えている間に、後続の車が無断で通過、入場したことがあったとのことです。

皆様から頂く施設拡充協力金によって、グラウンドの電気、水道料の支払い、壊れた設備の修理、維持、芝生化、新たな設備の充実等が賄われております。多くの皆様にご協力いただいている中、支払いに同意いただけない方の入場はお断りいたします。

2、駐車証掲示の徹底

グラウンド利用の趣旨について承知、同意いただけている証として、ゲート入場時における少年リーグ駐車証の掲示徹底をこれまで以上によりしくお願いいたします。これは公式戦、トレセン行事、団でプライベートに開催される行事等の区別を問いません。

3、一般公道への出口における危険な運転

グラウンドから公道への出場時に一旦停止することなく飛び出す車が時折見受けられるために、近隣農家の方や小学生がああ交差点に身の危険を感じられている。万一の事故を考えできるだけその道路を使わないように、という動きさえあるとのことです。

4、施設内の側溝や草深い場所で遊ぶお子さんから目を離す危険性

この件も過去より何度も注意してきていますが、お兄さんお姉さんの応援と一緒に連れてこられた弟さん妹さんから保護者の方が目を離し、場内で自由に遊びまわっているのは非常に危険です。特に春夏は側溝や草むらにカエルが居るなど絶好の遊び場ですが、マムシなどの毒蛇が何匹も見つかっては駆除されています。マムシ被害など深刻な事故があれば、それもグラウンド利用の存続問題に関わる可能性があります。

最後に

このグラウンド用地は神戸市水道局の持ち物であり、借地です。

グラウンドになる前には仮設住宅用地となっていた時期があり近隣地域住民の方と様々なトラブルが絶えなかったため、グラウンドに利用することとなった際の契約文書の中には、地元の方との深刻なトラブル、クレームがあった場合神戸市は1か月以内にグラウンドの利用を停止する、といった厳しい文言が盛り込まれているとのことで、トラブルがあるたびにこれまで間に入る調整役の皆さんが様々な苦勞をされなんとか現状が維持されてきました。もし今後もクレームが続くようなことがあれば、岩岡グラウンドが突然使用できなくなり、ひいては神戸市少年サッカーリーグ、各種大会の安定した運営に大いに差し支えることとなります。

ごく一部の心無い行為により、せっかく整ってきたサッカー環境が損なわれ、実際に不自由な思いをするのは何も悪くない多くの子供たち、ということになりかねません。また、4のママシ被害などといった悪意のない事故であっても、現状においては他の問題と合わせてそうした事態に繋がってしまう可能性もあるということです。

子供たちのサッカーのため、このグラウンドが地元住民の方々の理解を得て末永く利用していけるように、指導者、保護者ができることを考え、ご理解ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人神戸市サッカー協会 4種委員会